

# 高城中学校だより

令和6年6月25日（火） 校長 飯干 裕二

## 都城地区総合体育大会お疲れさまでした

5月30日（木）の水泳競技から始まり6月11日（火）のサッカー競技・軟式野球競技・ソフトボール競技まで、雨天順延の競技もありましたが、多くの3年生にとっては、最後の大会となる都城地区総合体育大会が無事に終了しました。

私も校長として、本校の生徒が出場する競技をできるだけ応援させてもらいました。結果等につきましては、学校HPに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

さて、応援に奔走する中で、多くの感動的な場面に遭遇しました。勝利の瞬間の嬉し涙、敗退後の悔し涙。同じ涙であってもその内容は違いますが、一つ言えることは、この涙は間違いなく、今後の人生において大きな糧となることでしょう。

さあ、本校から多くの生徒が県総合体育大会に出場します。今度は学校の代表のみならず、都城地区の代表として出場します。残念ながら出場できない生徒の分まで、粘り強く「心のこもった」試合をしてくれることを期待しています。

## 生徒総会が終わりました

5月30日（木）に生徒総会が予定どおり行われました。2つの協議題である「学校生活のマナーを身に付けるには何が必要か」「地域に貢献するためには何ができるだろうか」については、非常に活発な意見が出されました。

特に「地域への貢献」については、昨年度から様々な取組を行っており、今年度も関係機関及び地域の方々に、生徒の活動に際しての協力依頼をしているところです。生徒会執行部の皆さんはこの意見を集約し、本校の教育目標である「自立・貢献」とリンクさせた取組を推進してくれるこ

とと思います。自分たちの手で新たな一歩を踏み出しましょう！



## 第1回学校運営協議会が合同で開催されました

6月24日（月）に高城生涯学習センターにて第1回学校運営協議会が合同（高城中、高城小、石山小）で実施されました。学校運営協議会は「地域とともににある学校」を推進する有効な仕組みで、「学校の応援団」や「学校経営の参画者」として活動いただいております。また、学校と地域社会が有益な「Win-Win」な関係を築くことも目的としています。

本年度の委員（8名）の方々をご紹介いたします。

- 新原 明義 委員（みやこんじょボランティアネットワーク会長）《委員長》
- 安藤 武 委員（高城神社宮司、都城地区保護司会高城支部長）
- 兒玉 和裕 委員（宮崎県防災士ネットワーク都城支部）
- 宮田 一男 委員（横原「水・土・里」を守る会）
- 上久保 正巳 委員（高城地区自治公民館連絡協議会会長）
- 富永 千代子 委員（多機能型事業所Uru、かのんクラブ）
- 早川 純子 委員（南九州大学人間発達学部 教授）
- 平山 淳子 委員（本校PTA会長）

## 雨垂（だ）れ石を穿（うが）つ

梅雨時期ということもあり、今回はこの言葉を掘り下げます。あまり聞いたことがない方もいらっしゃるかも知れませんが、「穿（うが）つ」という言葉は、穴をあける、掘る、突き通すといった意味があるそうです。なので、「雨垂れ石を穿つ」とは、雨粒により石に少しづつ穴があくといった様子を表します。そこから転じて、たとえ小さな努力であってもコツコツと根気強く続けていれば、いつかは成功するといった意味として使われるようになりました。「塵（ちり）も積もれば山となる」「ローマは一日にしてならず」「継続は力なり」等と同じ意味になるようです。

さて、すぐに成功という結果で出なくとも、何度も訪れる苦難の壁に屈することなく、成功を信じて、地道に努力を行う人間になりたいものです。

## 地域貢献への取組

先に述べた生徒総会での「地域に貢献するために何ができるだろうか（地域貢献）」について、現在、以下の事業の達成に向けて生徒会執行部が一生懸命に取り組んでいます。

- 8/23（金） 公民館一斉清掃ボランティア（昨年度も実施。全校生徒対象）
- 8/25（日） 観音池まつりへの参加（本年度から。生徒会執行部が参加）